

未来に羽ばたけ日枝中 ~We Love HIE~

湖南省立日枝中学校学校だより
令和3年(2021年)2月8日①

のがみがわ

和衷共濟(わちゆうきょうさい)

心を合わせて協力して物事を行うこと。和衷は、心の底から一つに合わせること。

文責 校長 藪下 和彦

誇るべき生徒たち

3年生にとっては、この「のがみがわ」を手にするのも今月号と、3月8日の3月号が最終となりました。この1年間、朝の昇降口で顔を合わすたびに、しっかりと目を見て大きな声であいさつしてくれる3年生の生徒が日に日に増えていったことは、私にとっての宝物となりました。いよいよ卒業が現実のものになってきました。でも、その前に自分の進路を自分の力で切り開き実現させていくという大きな仕事が残っています。是非、100%の力を出し切って受験を無事に終えてほしいと切に願っています。

学校行事や部活動での大会、コンクールがことごとく中止や延期、規模縮小となってしまいました。今まで見てきた全ての光景が一変し、必死になって練習し自分自身の心を磨いてきたその成果を思う存分発揮することが少なくなりました。しかし、そのような中でも決して諦めたり下を向くことなく、3年生のみなさんは「前進」し続けてくれました。体育祭や文化祭等の大きな学校行事の際、3年生のリーダーたちは「僕たちは、先輩たちがリーダーとして活躍する姿をカッコイイと思ってきました。だからリーダーをしたいと思ったし、自分たちも頑張りたい!」と話してくれました。まさに日枝中学校の伝統を受け継ぎ、そして、文化祭ではあらたな伝統を築いてくれた3年生でした。日枝中学校を一步前へ進め、さらに高めてくれたように思います。私にとって3年生は、この先忘れることのできない記憶に残る学年となりました。自信を持って送り出す3年生です。この姿を1・2年生たちはしっかり見ていてくれたと思います。引き継いでくれると思います。3年生の足跡を踏みしめながらその先へ歩いていかなければいけません。2年生は来年の受験に向けて「新研究」「サポート」学習を始めます。1年生は中堅学年になります。それぞれが新たなスタートです。

一足早く・おめでとう!!

3年生はこの時期、受験日程のまっただ中。県内私立高入試に始まり、県立高校の特色・推薦選抜、県外私立高入試と忙しい毎日でした。

ひとあし先に、合格が決まった人には仲間の学習の応援とともに、みんなで中学校生活を締めくくるための協力をお願いする予定です。また「内定者」ということをくれぐれも忘れないようにしてください。

県立高校 一般選抜学力検査

3月9日(火) 学力検査・10日(水) 実技検査

2年生もスタート

毎日の学習教材である「新研究」「サポート」学習。2月24日(水)より始めます。この学習成果の確認として、第1回実力テストが4月12日(月)に実施される予定です。1年先の進路を見据えて、計画的にそして、一日一日の積み重ねを大切にしたい取組を期待しています。全ては、日々の生活からです。

第38回卒業式

あらたな日枝中学校の伝統を創ってくれたと言っても過言ではない3年生の、前途を祝う卒業式を下記の日程で執り行う予定をしております。保護者の皆様には、この「のがみがわ」が届く頃に、ご案内させていただけると思います。今般の事情により変更のある場合は、タウンメールやHPで連絡させていただきます。

日時：3月15日(月)
14:00開式

・・・3年生、その後は

3月16日(火)

県立高校一般選抜学力検査合否発表

3月〇〇日(△)～(注)高校によって違います。

各進学先校からの入学説明会、教科書購入等の招集日(多くが保護者同伴になります)ご家庭で諸々計画されている場合は、予定・日程にご注意ください。

学力向上の取組

本校は、平成28年度から、学校独自の学力向上に向けた取組の一環として、後藤孝文先生にお越しいただき、「学びの共同体」をもとにした学び合い学習として、教室の机の配置を『コの字型』にした授業スタイルをとって授業を進めてきました。今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、2学期後半からようやく『コの字型』の机の配置で授業を進めるところにこぎ着けました。1年生は初めての経験となりますが、2・3年生については、継続的な取り組みをしてきた学年でもあります。日枝中学校の学習スタイルでようやく授業を受けることができ、グループ学習や話し合い活動、学び合いの姿が少しずつではありますが従来の姿に戻りつつあります。

『コの字型』の学習スタイルの目的は、「ひとりぼっち」にせず、「ひとり残らず」学びに参加させること。また、学ぶことのポイントは、人との関わりや交わりにあり、生徒同士、生徒と先生、先生同士も人の考えを聴き合い、高め合うことにあると後藤先生は仰いました。3学期に入り、2月1日には、後藤先生をお招きして、4・5時間目の授業を参観いただき、ご指導をいただきました。ご指導いただいた内容の中で、特に印象に残っていることは、教師側にも生徒側にも、いや、普段の子どもと接する様々な機会の中で、『聴く力の3原則』という話がありました。「きく」という漢字はいくつかありますが、後藤先生は門構えの「聞く」と耳偏の「聴く」は、「ヒアリング」と「リスニング」の違いで、「リスニング」は意識をして耳を傾けている。「ヒアリング」は意識せずに耳に入ってくる違いですと仰いました。3原則は「最後まで聴く」「相手の表情や目を見て聴く」「頷きながら(相づち)聴く」ですと。普段の生活の中で、学校や家庭における子どもたちの会話や対話の中で、我々大人がどういう意識で人の話を聴こうとしているか。ふと、我に返って考えたとき、人とともに生活していく上で、基本となることであると再認識しました。



□ちょボラ活動□

生徒自らの手で、安心した学校生活を送れる日枝中学校にしていこうと、「ちょこっとボランティア」、略して『ちょボラ』活動を実施してくれました。今回は、普段、限られた清掃活動の時間にはなかなか手が付けにくい教室や廊下の窓のサッシをきれいにしてくれました。お昼休みの時間帯で、ゆっくりと過ごしたい時間帯ではありましたが、一生懸命きれいにしようとして頑張ってくれる生徒の姿をたくさん見かけることができました。ありがとうございました。

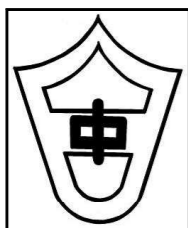


□今後の学校行事等についてお願い□

2学期以降、感染防止に努めながら通常の学校生活に少しずつ戻るようにしてきました。しかしながら、感染は収束の兆しが見えない状況です。こうした現状を踏まえ、今後の学校行事や会議等の持ち方について、その内容や開催方法を含め、変更もしくは延期、または中止の判断をさせていただくことがあるかもしれません。予めご理解いただきますようよろしくお願いいたします。詳細につきましては、その都度、文書やタウンメール、HP等にて連絡させていただきます。

□ご寄付いただきました□

本校1年生在籍のS・Oさん・3年生在籍の大野圭輔さんのご家族のご縁で、「ホテルサンクレスト」さんから、『ほうじ茶』のパックをご寄付いただきました。心温まるご厚意に感謝申し上げます。ありがとうございました。



未来に羽ばたけ日枝中 ~We Love HIE~

湖南省立日枝中学校学校だより
令和3年(2021年)2月8日②

のがみがわ

和衷共濟(わちゆうきょうさい)

心を合わせて協力して物事を行うこと。和衷は、心の底から一つに合わせること。

文責 校長 藪下 和彦

学校評価から

学校評価にご協力いただきありがとうございました。毎年のことながら90%近い回収率で、本校に関心と期待を寄せていただき本当に感謝しています。改めて本校生徒たちにとって安心・安全な学校となり、将来に夢を持てるよう学校づくりに取り組む責任を感じています。コミュニティスクールとなり4年が経過しました。この1年間はコロナ禍ということもあり、例年どおりの活動が思うように実施できず、地域や理事の皆様そして学校ももどかしさを感じた1年となりました。コミュニティ・スクール理事の皆様にも学校関係者評価としてご意見をいただきました。学校の現状とともにコミュニティ・スクールとしての成果と課題について保護者の皆様にもご考察いただけると幸いです。この結果を踏まえ、さらに「信頼され愛される学校づくり」に取り組みたいと思います。

紙面が限られていますので肯定的な評価(そう思う、まあまあそう思う)をいただいた割合を表示します。(無回答、わからないを除いた集計をしています)

*保護者アンケート(11月実施)

日枝中学校 保護者アンケート 4年間の推移	2020	2019	2018	2017	2016
1 学校は、教育実践の取り組みを積極的に保護者や地域に発信している。	86%	93%	88%	84%	73%
2 学校は、地域の特性を踏まえ、特色ある教育活動を積極的に推進している。	81%	88%	80%	71%	65%
3 学校のPTA活動は、活発に活動している。	79%	82%	84%	82%	74%
4 わたしは、学校の行事には積極的に参加している。	76%	74%	68%	58%	54%
5 学校は、子どもが楽しく通える学校づくりをしている。	88%	87%	87%	75%	67%
6 子どもは、学校からのお知らせ文書を渡している。	82%	83%	81%	77%	77%
7 子どもは、学校や社会のルールを守り生活している。	95%	94%	97%	90%	88%
8 いじめなど心配せず、子どもを安心して学校へ通わせている。	87%	86%	85%	71%	76%
9 学校が取り組んでいる学力向上は、効果が表れている。	56%	45%	44%	37%	34%
10 子どもは、授業がわかりやすいと言っている。	57%	47%	47%	37%	32%
11 子どもは、家庭学習(塾を含む)を習慣化している。	63%	60%	61%	44%	43%
12 お子さんと学校や勉強のことでよく会話をしている。	83%	82%	80%	72%	76%
13 学習の評価はわかりやすく、適切になされている。	81%	81%	81%	71%	57%
14 学校の教員には、いろいろなことが相談できる雰囲気がある。	76%	77%	71%	64%	58%
15 部活動は、適度に(内容・休み・費用等)実施されている。	87%	87%	82%	64%	62%
16 日枝中学校はコミュニティ・スクールとして、地域と連携した取り組みを進めていることを知っている。	89%	95%	86%		
17 コミュニティスクールである日枝中学校は「笑顔で挨拶ができる生徒」「失敗を恐れずチャレンジする生徒」「話をしっかり聞ける生徒」が育成できるような取組を行っている。	97%	84%	77%	61%	
18 わたしは、子どもの様子をいつも気にかけて、声かけをしている。	97%	97%	96%	75%	

『手は離れても目と心は離さないでください』これは、新入生説明会で私が、現在小学校6年生の保護者の皆様へ伝えた言葉です。中学校入学を目の前にして、ようやく子育ても一段落と感じておられる親御様もいらっしゃる中での話です。質問項目の「17」「18」では、地域でも、そして保護者の多くの方々が、常に我が子も含め、全ての子どもたちのことを大切に、そして見守り続けてくださっている大きな成果の表れが数字に出てきていると感じています。そして、「いじめなど心配をせず、安心して学校へ通わせる」という項目については、学校だけではなく、地域や保護者の皆様の家庭力、地域力にも支えていただきながら、今までの取組がじっくり確実に定着しているのではないかと感じています。

また、「学力向上の効果」や「授業がわかりやすい」という項目においては、コロナ禍で学習の保障といった観点では当初不安もありましたが、個々の教員の教材や授業の研究、丁寧な指導の結果が成果として表れてきているのではないかと考えています。今後は、先の見通しがなかなか立たない中ではありますが、今できることを確実に積み上げていくことを大切にしながら取組を継続していければと考えています。

一方、「保護者地域への発信」や「地域の特性を踏まえた教育活動」の項目については、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う影響があるのではないかと捉えています。今後、感染の影響が続くことも予想される中で、今までとは違う形での地域・保護者との連携を模索する必要があるのではないかと感じています。

*生徒アンケート(11月実施)

日枝中学校 学校生活をふりかえる 生徒アンケート	2020	2019	2018	2017	2016
1 学校生活は楽しいですか?	85%	88%	91%	89%	89%
2 学校の授業はわかりやすいですか?	80%	72%	81%	72%	74%
3 あなたの学習の取り組みの様子やがんばりを先生は見ていてくれますか?	89%	85%	90%	84%	82%
4 先生は授業でわからないことについて教えてくれたり、もっと学習したいことについて教えてくれますか?	86%	85%	90%	83%	83%
5 人権学習では関心を持って取り組み、自分なりに考えることができましたか?	85%	83%	86%	82%	86%
6 ボランティア活動やボランティア体験に参加しましたか、または今後参加したいですか?	44%	59%	78%	73%	54%
7 担任の先生や学年の先生は親身になって相談ののってくれますか?	91%	88%	87%	84%	80%
8 先生は生徒一人一人を理解しようとしていますか?	90%	89%	88%	87%	86%
9 先生はいろいろな活動と一緒に取り組んでくれますか?	89%				
10 日枝中の総合的な学習の時間は、あなたにとって充実した活動となっていますか?	85%	91%	93%	89%	87%
11 朝読書や朝学習に一生懸命に取り組めましたか?	67%	64%	75%	73%	75%
12 家庭学習(塾を含む)が定着しましたか?	52%	66%	71%	62%	67%
13 保護者や地域の人ももっと一緒に活動したいと思いますか?	52%	54%	59%	52%	53%
14 学級の問題に気づき、みんなで前向きに解決しようとしていますか?	67%	62%	73%	64%	69%
15 あなたは学級内の係活動に積極的に取り組んでいますか?	78%	77%	84%	79%	76%
16 部活に所属している人は、積極的に部活動に参加しみんなと仲良く活動していますか?	83%	81%	84%	83%	85%
17 家族や地域の人にもあいさつができていますか?	92%	91%	93%	95%	
18 失敗しそうなことでも勇気を持ってチャレンジしたことがありますか?	76%	78%	85%	78%	
19 他の人の話を最後までじっくりと聞くことができますか?	84%	81%	82%	82%	

ここ近年、生徒たちの頑張りが見える結果で、全体的には高い数値で安定してきています。とりわけ、コロナ禍で学習面への不安を感じている生徒が多いことを予想していました。3月から5月までの3ヶ月間、しかも年度をまたいでの新学期6月スタートとなりました、個々の教員の研究・指導の成果が「授業がわかりやすい」という項目でのアップに表れてきているのではないかと考えています。あわせて、本校の生徒指導の取組で大切にしている、教職員は常に『生徒の近いところへ』という意識が浸透してきており、そのことが、「先生は親身になって相談ののってくれる」あるいは、「先生は一人ひとりを理解しようとしている」というそれぞれの項目について微増ではありますが、確実に取組の成果として表れてきていると思われます。

一方「朝読書、朝学習」の取組としては、一昨年と比べ低い値を示しています。一日のスタートである朝の時間帯に、静かな環境で読書や学習に取り組むことについては、再度学校として、教職員、生徒ともに取組の目的やねらいを、共通理解し徹底する必要があると感じています。そして、同様に「家庭学習の定着」という項目については、教職員を対象としたアンケートでも「家庭学習の弱さ」が顕著でした。年度当初に、家庭学習の意義について確認する時間が確保されていましたが、今年度は6月により早く学校が再開できたことで、新学期スタート時のおさえと定着には及ばなかったと分析しています。ただ、本校にとっては他の質問項目によりも数値が低かったり、定着には時間を要することは必至であり、学校全体としての取組を検討する必要性が高いと感じています。